

チーム名	閑古宇鳥	大学・学部	鹿児島大学・法文学部	長崎県国境離島ステージ
プラン名称	Iki = Gift ~しまをあなたに。~			
リーダー名	矢野美咲	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 (○) ①「しま」ならではの「観光まちづくり」 () ② 島がうるおう「観光まちづくり」	本選出場 【オーディエンス賞】
指導教職員名	北村浩一			
メンバー名	甲斐美咲 川路瑛巳			

IKI = GIFT

~しまをあなたに。~

問題意識

- ✓ 夏以外の観光客が少ない。
- ✓ 知名度が低い。
- ✓ 若者の観光客を増やしたい。
- ✓ 日帰り観光客が多い。
- ✓ 「しま」= 遠い。という概念

↓
「しま」に行く機会がない。行く一歩が踏み出せない。

↓

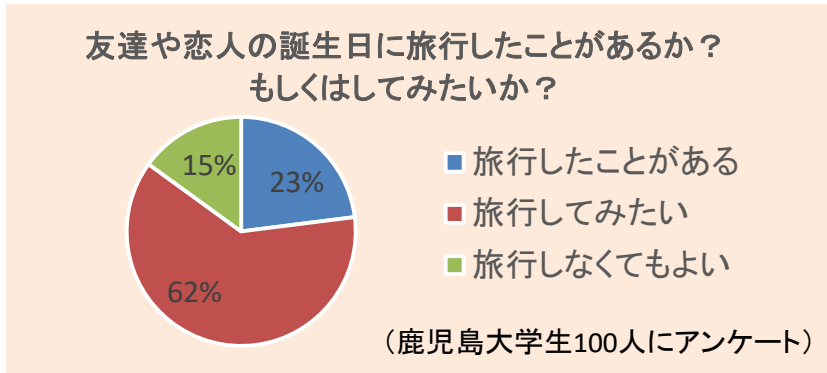
「しまに行こう!!」となるキッカケが重要!

ターゲット ⇒ 若者

問題の解決策

しまに出向くための機会提供として... **「誕生日」**

- ・「モノ消費」より「コト消費」の傾向
- ・特別な日である= 出費が多い
- ・誕生日に旅行する人が多い



○フィールドワークを通して
壱岐の資源は... 人の温かさ
しまに来た人を幸せにしたい
というおもてなし精神
居心地の良さ
ゆったりとした雰囲気

実現計画

- Gift①真珠に願いを。
- キズのついた真珠の活用**
- ① 神社の正面にて真珠を渡される。
 - ② 自分の想いを込めて真珠を海に流す。
 - ③ 願いを込めてお祈りする。
- 協賛【山本真珠】
- Gift②壱岐FMサプライズメッセージ
- 「しまに来る人にワクワクを。」
- ① InstagramのDM機能を活用。
 - ② オンエア中にメッセージをラジオを通して聞いてもらう。
- 協賛【壱岐FM(齊藤さん)】
- Gift③ゲストハウス交流
- ゲストハウスによって差別化!!
- みなとやゲストハウス → オーナーとの交流が深い
その日に適した楽しみ方が出来る
 - 民宿和茶美 → 外国人との交流ができる、レトロなデザイン
- ⇒ ゲストハウスによって違ったお祝い方ができる!!!**
- 協賛【みなとやゲストハウス、民宿和茶美】

モデルプラン

来島前

Gift②壱岐FMメッセージ

1日目

10:00 博多港発

12:20 壱岐(郷ノ浦)着

13:00 昼食

14:30 Gift①真珠に願いを。

15:30 観光

17:00 Gift③ゲストハウス交流

2日目

8:00 朝食

10:00 観光

12:00 昼食

14:00 シーキャンドル作り

16:15 壱岐(芦辺)発

ワクワク♪

楽しい♪

「幸せだった♪」

提案プランの新規性

- 従来の誕生日の祝い方
- ✓ 当事者のみでお祝いする
 - ✓ テーマパークやディナーなど。
- しまでの誕生日の祝い方
- ✓ 島の人、他の観光客を巻き込んでお祝い
 - ✓ 非日常的な体験
- ↓
- 観光客、しまの人とともに「幸せ」を共有。
しまの観光、人との交流すべてを贈り物(Gift)に。

宣伝方法

一つのショーケースとして!

Instagramアカウント「IKI = GIFT」の利用

作成済!

- #ikigiftの拡散
- ユーザーの投稿を活用
- アカウントを幸せのショーケースに

プランによる効果

- ✓ **リピーター創出** ← 誕生日という特別な日をしまで過ごすことで壱岐が思い出のしまになる
 - ✓ **明るいしまづくり** ← 「おめでとう」という言葉、お祝いムード
 - ✓ **知名度UP** ← 「IKI = GIFT」というイメージ
 - ✓ **経済効果** 若者が大切な人の誕生日に費やす費用 ⇒ 1万円~2万円 が多い!
(鹿児島大学生100人にアンケート)
- 福岡の20~24歳人口の10% ⇒ 2万6千人
2万 × 2万6千人 = 5億2千万円/年

私たちは「誕生日」だけでなく、「記念日」といった特別な日にも来てもらえる島にしたい...
そんな気持ちを込めて、「IKI = GIFT」を贈ります。